

地方公共団体名	北海道旭川市
所属部局 担当者名	環境部環境総務課ゼロカーボンシティ担当 担当：課長 安富 一紀，主査 増田 匡
地域の抱える 課題	<p>【環境・脱炭素に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○北北海道における交通の要衝であり，物流や都市機能が集積している中核市であることから，相当量の温室効果ガスを排出しており，あらゆる主体が削減に取り組む必要がある。 ○積雪寒冷地かつ内陸部に位置し，有力な再生可能エネルギー源を見出せていない。 ○冬期の暖房やロードヒーティング使用に伴う温室効果ガスの排出量削減も課題の一つとして認識。 <p>【同時解決したい地域の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○少子高齢・人口減少に対応した出産・教育など子育て環境の充実 ○安全・安心な暮らしを確保し，人を呼び込む地域の魅力を向上 ○先端技術の活用やデザインなど新たな視点を通じた地域経済の基盤強化とグローバル化への対応 ○自治の進展と厳しさを増す財政運営への対応
地域のありたい 未来	本市の特長である都市・農村・自然が共創し，ひととしごとが力強く好循環する北北海道の拠点都市としての維持・発展

<p>事業の概要</p>	<p>○中心市街地を核とした脱炭素モデルエリアの創生による脱炭素化とレジリエンス強化，市域・道内外への展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暖房やロードヒーティングなどの省エネ化，再エネ化 ・PPA 事業による公共施設や民間施設への太陽光発電の導入 ・雪氷熱，もみ殻など地域未利用材を活用した再生可能エネルギーの導入 ・主要施設間における地域マイクログリッド（熱・電気）の導入 ・レンタカー，公共交通機関，公用車のEV化，PHEV化，シェアリング
<p>企業に求めたい内容</p>	<p>次の取組に係る助言や協働など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PPA など再生可能エネルギーの導入 ・雪氷熱，もみ殻などの地域未利用材活用 ○水素の生産，供給，利活用の可能性追求 ○地域マイクログリッドなどエネルギーマネジメントシステムの構築 ○交通の脱炭素化 ○将来的に地域内で省エネ・再エネ・エネルギーマネジメントを展開し，循環できる人材育成・仕組みづくり